

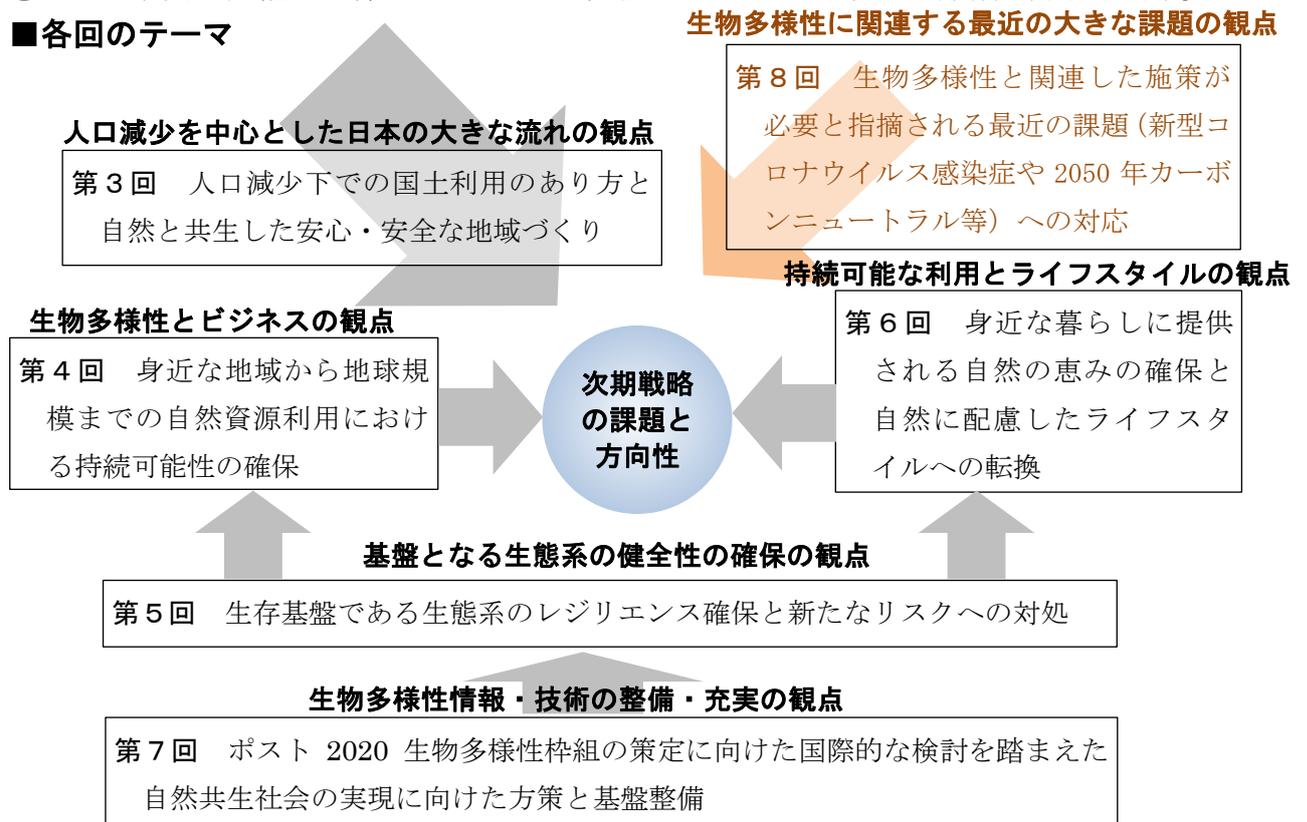
第 8 回次期生物多様性国家戦略研究会のテーマと主な論点等

1. 本研究会のこれまでの経緯と今後の議論のとりまとめに向けて

(1) 目的とこれまでの議論のテーマ

- ①次期生物多様性国家戦略の策定に向けて、中央環境審議会での審議の際に必要な課題の抽出及び対応の方向性の検討を行うために、2020 年 1 月より次期生物多様性国家戦略研究会を開催。
- ②2019 年度に開催した第 1～2 回では、次期生物多様性国家戦略の大きな方向性や構造を議論。
- ③2020 年度に開催した第 3～7 回では、各回のテーマに沿って議論（下図参照）。

■各回のテーマ



(2) 第 8 回・第 9 回の議論内容（予定）

- ④今回の第 8 回は、ここ 1 年あまりの間に大きな変化があった、生物多様性に関連した施策が必要と指摘される最近の課題（新型コロナウイルス感染症や 2050 年カーボンニュートラル等）への対応を議論（次頁の「2.」参照）
- ⑤本研究会はもう 1 回開催予定（6 月下旬）。最終回は報告書案のとりまとめと、次期生物多様性国家戦略に向けた課題と方向性について、総括的な議論を予定。

(3) とりまとめに向けて

- ⑥報告書は、自然共生社会、持続可能でレジリエントで豊かな社会をキーワードに研究会での議論を基に特に重点的に取り組むべき事項の方向性を提示する予定（報告書は網羅的なものとはせず、その構成が戦略の構成そのものとはならない）
- ⑦また報告書には、国際的な議論も踏まえつつ、指標群を付属予定。

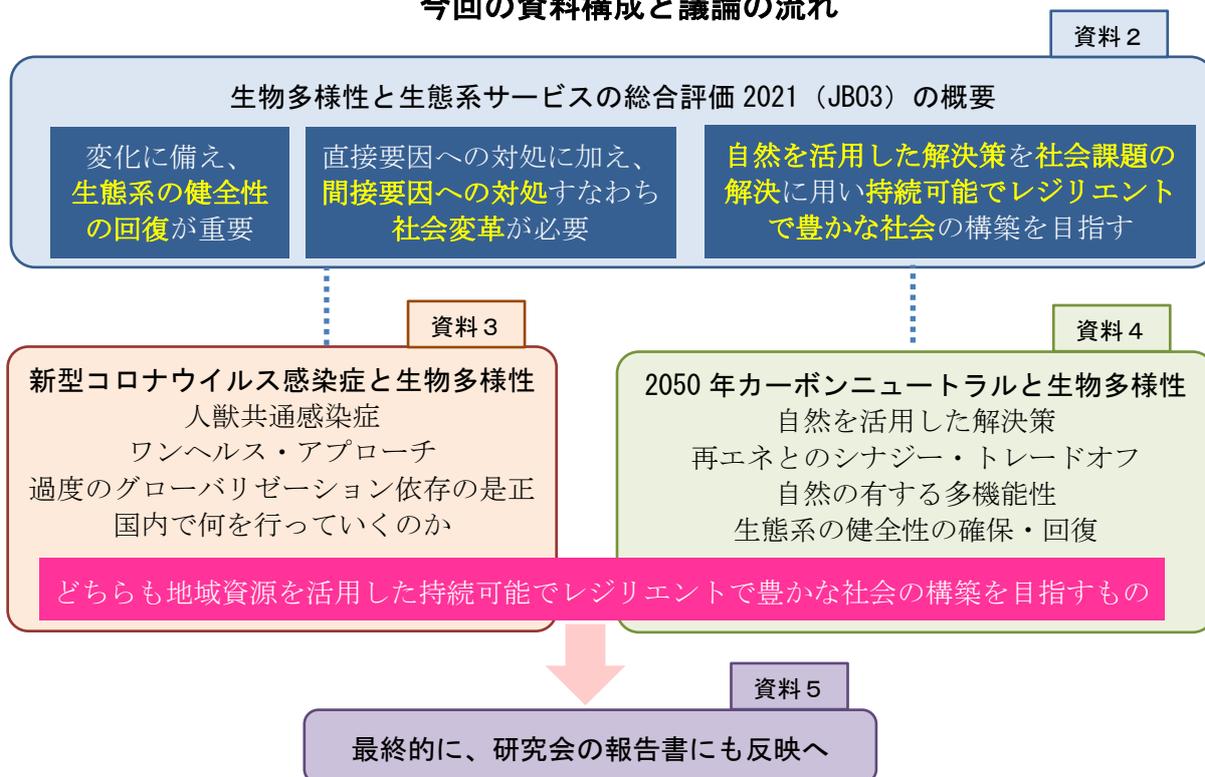
2. 今回のテーマ

「生物多様性と関連した施策が必要と指摘される最近の課題（新型コロナウイルス感染症や2050年カーボンニュートラル等）への対応（案）」

本年3月に公表された「生物多様性と生態系の総合評価 2021（JB03）」の内容を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症や、2050年カーボンニュートラル等の生物多様性と関連した最近の課題について議論する。

- 今回は、「持続可能でレジリエントで豊かな社会」をキーワードに、新型コロナウイルス感染症や2050年カーボンニュートラルに関連する生物多様性の課題や貢献について議論。
- （時間が許せば）本研究会報告書案について議論。

今回の資料構成と議論の流れ



3. ポスト2020生物多様性枠組等の検討状況

- ・ COP15は2021年10月11日～24日に中国・昆明で開催予定。
- ・ 事前の準備会合であるSBSTTA24・SBI3は現在オンライン会議で開催中（5月上旬～6月中旬）、ポスト2020生物多様性枠組を議論するOEWG-3は8月に開催の方向で調整中。

4. 次期生物多様性国家戦略策定に向けたスケジュール

- ・ 本研究会はもう1回開催予定（6月下旬）。最終回は報告書案のとりまとめと、次期生物多様性国家戦略に向けた課題と方向性について、総括的な議論を予定（再掲）
- ・ 次期国家戦略については夏頃から中央環境審議会自然環境部会での検討を開始し、2021年度末を目安に策定できるよう進める方針。